

# 【小施策評価(平成30年度実績評価)】

## 小施策の総合計画における位置付け

基本目標	4	人が集い活力を生むまちづくり	小施策 主管課等	経済企画課	
施策	22	商業・サービス業の振興	評価 責任者	及川 隆	内線 3710
小施策	22-3	多様なサービス業の振興	評価 シート 作成者	高橋 久幸	内線 3711

## 小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	⇒	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
第三次産業の割合が高い産業構成となっており、中でも全事業所数に対し、約3割を占めるサービス業は、多様で市民生活への関連も深く、経済活動の重要な分野であることから、サービス業を含む商業全般の振興を図る方針等を定め、育成・支援する必要がある。		にぎわいと求心力のある商業と多様なサービス業の振興に向けて、情報・生活関連サービス業などの育成・支援を推進する。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	⇒	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか/対象+成功状態)
サービス業者		多様なサービスを提供する。

## 小施策の成果指標の達成状況・評価(平成30年度実績)

実績値の推移				実績の評価			
				成果点	⇒	成果の要因分析	
<b>指標① サービス業の従事者数</b> 当初値 (H25) 53,158   R1目標値 55,800   R6目標値 58,500 				単 位 人   目指す方向 ↗ ※経済センサスにより調査している項目のため調査年度のみ掲載		・全日本わんこそば選手権の認知度が高まり、パブリシティにより効果的に盛岡市の魅力を発信できた。 ・観光客やインバウンドが増加したことや盛岡三大麺の認知度が向上したことなどにより、この方々をターゲットにしたサービス業の新規出店や人員増を行う事業者が増えた。	・著名な方が参加することにより、民法キー局の取材や全国放送が行われ、盛岡の情報が発信された。
				問題点	⇒	問題の要因分析	
				・補助金を効果的に活用しきれていない団体がある。		・支援する団体における事業内容の精査を行う必要がある。	
<b>指標② サービス業の新規求人数</b> 当初値 (H25) 20,027   R1目標値 20,700   R6目標値 21,700 				単 位 人   目指す方向 ↗		・サービス業の新規求人数が前年より増加した。 ・観光客やインバウンドが増加したことや盛岡三大麺の認知度が向上したことなどにより、この方々をターゲットとしたサービス業の新規出店や人員増を行う事業者が増えた。	・商工団体への補助を通じて、サービス業の振興を図った。
				問題点	⇒	問題の要因分析	
				特になし		特になし	

## 今後の方向性(令和元年度以降)

<b>評価を踏まえた取組の方向性</b> ★…R1年度着手済または着手予定 ☆…R2年度以降の着手を検討
★ 各種事業を推進していくにあたって、市の補助金、負担金は重要な財源となっていることから、補助制度は必要と考えられるが、市としても各事業の内容について十分な精査を行ったうえで交付額を算定していく必要がある。 ★ 平成29年度に策定した「盛岡市商業振興ビジョン」に基づき、商業振興施策を体系的、計画的に推進していく。
★ 各種事業を推進していくにあたって、市の補助金、負担金は重要な財源となっていることから、補助制度は必要と考えられるが、市としても各事業の内容について十分な精査を行ったうえで交付額を算定していく必要がある。 ★ 平成29年度に策定した「盛岡市商業振興ビジョン」に基づき、商業振興施策を体系的、計画的に推進していく。